



令和2年7月

川越市教育委員会地域教育支援課

子どもサポート事業 17年目

2地区をモデルとして始まった子どもサポート事業が、令和2年度で、17年目に入ります。

新型コロナウイルス感染症の広がりのため、昨年度2月末から、学校教育もサポート事業も例年通りには進められていません。例年では4～6月に各地区の第1回サポート委員会が開催され、組織の編成と今年度の活動内容や予算等が確認されます。今年は書面会議や延期で対応し、事業について公民館やサポート委員会で打ち合わせを重ね検討を進めていただいています。

6月29日（月）から、学校教育も対策を講じながら平常日課での授業を開始したばかりです。新しい生活様式の中で地域の子ども達を育くむ活動をどのように続けていくかを考えるスタートになりました。



南古谷地区 昨年度のかかし祭り

川越市子どもサポート本部会議の概要

5月19日（火）に、令和2年度第1回の川越市子どもサポート本部会議が、市役所東庁舎教育委員会室で開催される予定でしたが、今回は書面での会議となりました。

会議の内容

- ① 令和2年度「川越市子どもサポート本部会議」について
子どもサポート事業に関する総合的な啓発や各サポート委員会との調整を図る。
- ② 令和2年度の川越子どもサポート発表会について

【昨年度の例】

- ・川越子どもサポート発表会実行委員会組織について
実行委員長のもと「審査部」「運営部」「展示部」の3部会を組織する。
- ・会場:やまぶき会館
- ・内容:小江戸見つけ隊の表彰及び発表、各地区の取組紹介(スライド)
代表地区の取組発表、指導講評

- ③ 子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」について（応募等は右ページ参照）

子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」

作品の募集について

【コンクールの趣旨】

- ①自分が住んでいる地区の様子について体験を通して感じたことを作文や絵画、新聞に表現し、各地区の良さを再認識できるようにする。
- ②子どもたちと地域とのつながりを一層深め、地域ぐるみで子どもたちを育てていく意識を高める。

【募集は、3部門】

- (1) 作文の部・・・B4版400字詰め原稿用紙3枚以内
- (2) 絵画の部・・・四つ切り画用紙、縦・横の向きは自由
- (3) 新聞の部・・・B4版・縦長1枚、写真等を用いるのは可とするが、
写真のみの作品は不可、パソコン等での作成も可



【出品規定】 出品作品・・・未発表のもの

出品点数・・・1人1部門につき1点まで
出品資格・・・川越市内小中学校児童・生徒

【募集期間】 夏休み明け～10月30日（金）

【応募方法】 各学校もしくは地域教育支援課へ提出

- 優秀作品の表彰 川越子どもサポート発表会において
- 入賞作品の展示 やまぶき会館（発表会当日）
- 全応募作品の展示 川越市立美術館 令和3年2月17日（水）～21日（日）
9時～17時（最終日は入場14時半まで、展示15時まで）



※作品展示ならびに表彰については、感染症拡大防止の観点から、開催方法の変更又は中止の可能性もあります。

※各小中学校にも募集要項を配布してあります。

「学校・家庭・地域の連携に関わる研修会」の開催について

今年度は、学校、家庭、地域の連携の重要性を啓発する「学校・家庭・地域の連携に関わる研修会」と「コミュニティスクール研修会」の合同開催です。下記のとおり、学校の教職員等を対象に開催いたします。

- (1) 開催期日 令和2年10月23日（金）13:30～16:30
- (2) 会場 川越市大東市民センター 多目的ホール
- (3) 内容 ・講演「学校運営協議会の役割と学校・家庭・地域」（仮題）



昨年度の研修会の様子

講師 志々田 まなみ 氏

（国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部 総括研究官）

※新型コロナウイルスの感染防止のため、ウェブ開催になることもあります。

各地域の活動の様子をお伝えします

「学校応援団活動」の紹介

***** 令和元年度の活動から *****

学校の授業の中で、サポート委員が子ども達のサポート活動をしています。

中央北地区 小学1年生の「昔の遊び体験」をサポート

小学校1年生の生活科の授業で、昔の遊びを体験します。その先生役として中央北サポート委員会の委員が、活躍しています。それぞれの遊びのブースを子ども達が回って、やり方やコツを教えてもらいます。

体育館のあちらこちらから、子ども達の歓声が聞こえ、サポート委員の笑顔も満開です。



山田地区 紙漉き体験などの文化体験

5年生の総合的な学習の時間の学習「山田再発見の旅」で、藍染、生け花、紙漉き、お囃子、お茶の文化体験を実施しています。山田サポート委員会の委員や専門のゲストティーチャーが、指導・支援をしています。

子ども達は、興味・関心のある体験を選んでグループごとに教えてもらいます。出来上がった作品は、活動展や文化祭で展示し学習の成果を発表することができました。



霞ヶ関地区 生活科「虫取り」で安全をサポート

霞ヶ関南小学校1・2年生の生活科の授業で、虫取りに出かけた際に、行き帰りの交通安全と公園での事故防止をサポートしています。

虫取りの場所は、安比奈親水公園の一角にある草むらです。網を持った子ども達は、歓声をあげて虫に向かっていきます。サポート委員も子ども達と一っしょに駆け巡り、タイミングを図るかけ声をかけていました。取った虫は、一部を学校に持ち帰り観察をしたり、絵画や文で表現したりしました。



霞ヶ関北地区 白鷺祭で体験活動をサポート

9月に白鷺祭での体験学習をサポートしました。

1～3年生の生徒が、15種目の中から自分で挑戦したいものを選び、それぞれの種目の先生から、習います。約2時間後、体験の成果を披露する全体会が、体育館で行われます。中学校生活3年間で重ねた体験学習は、キャリア教育の推進とともに、地域の方々との交流も深めています。



「地域の特色を生かした活動」の紹介

***** 令和元年度の活動から *****

土曜日や日曜日等の子どもの体験活動をサポートしています。

南古谷地区 コンサートを年に2回開催

南古谷ウィンドオーケストラは、年間2回の演奏会を実施しています。7月の定期演奏会と1月のニューイヤーコンサートです。両方とも南古谷地区内にある東邦音楽大学のホール「グランツヴァール」で開催しています。



名細地区 子ども自然教室を始めました

子どもたちに自然を愛する心や自然の営みに感動する心を育むことを目的に「子ども自然教室」を新たにスタートしました。昨年は「こもれびの森たんけん隊 in 東洋大学」と銘打って、同大学の教授や里山ボランティアの案内でキャンパス内にある広大な森の探索を行いました。参加した子ども達は、自分達が住む地域に素晴らしい自然があることに驚き、花や木、昆虫を発見すると瞳をきらきらと輝かせていました。



古谷地区 文化展でいろいろ体験します

古谷公民館主催の土曜日学級「はらっぱ」に、サポート委員会の委員が支援しています。全7回の講座のうちの第6回目に「文化展に行こう」があり、古谷公民館で実施されている地区の文化展に、子ども達が参加しました。様々なワークショップの中でも特色があるのが「吹き矢」です。的に向かって、吹き矢の筒をセットし、狙いを定めて一気に吹きます。



中央北地区 楽しい料理教室

毎年12月に2回に分けて料理教室を実施しています。主菜と副菜、デザートは3点を手作りしています。包丁の持ち方や切り方、調味料を入れるタイミング等々、先生に教えていただきながらサポート委員が支援を進めています。さつまいもごはん、餃子スープ、バナナケーキを手際よく、協力し合って作り上げました。自分で作った料理の味は格別です。



大東地区 毎年盛況の子どもフェスティバル

大東市民センター（公民館）の全館を使って開かれているフェスティバルには、のべ542名の参加者（スタッフ含む）がありました。13種類のブースがあり、子どもも大人も楽しんでいました。カルメ焼きの体験では、作り方を見せてもらってから自分でも挑戦していきます。ふくらんだ時の歓声があちらこちらから聞こえてきました。



